

婦女子の教育のため私財を投じて建築された学校

順正寮跡

| | |
|--------|---|
| 指定区分 | 県指定史跡 |
| 読みかた | じゅんせいりょうあと |
| 所在地 | 高梁市頼久寺町(順正短期大学) |
| 指定年月日 | 昭和34年3月27日 |
| 解説 | 順正寮は、明治28年(1895)にキリスト教信者の福西志計子と木村静子が中心となり、私財を投じて婦女子の教育のために建築した順正女子校の校舎。のちに寄宿舎に利用された。和風の外観を持ちながらベランダを設け擬洋風の手すりを付けるなど随所に洋風設計を取り入れている。順正短大では、図書館として使われていた。 |
| アクセス方法 | JR備中高梁駅から徒歩15分 / 賀陽ICから車で約25分 |
| 公開状況 | 外観のみ |
| 設備 | 高梁市観光駐車場(有料)等を利用 |
| 備考 | |

きつずページ

| | |
|-------------------|---|
| していくぶん (指定区分) | 県指定史跡 |
| ぶんかざいめい (文化財名) | 順正寮跡 |
| よみかた | じゅんせいりょうあと |
| しょざいち (所在地) | 高梁市頼久寺町(順正短期大学) |
| していつひ (指定した日) | 昭和34年3月27日 |
| せつめい | 明治(めいじ)28年に順正女子校(じゅんせいじょしこう)という学校(がっこう)がつけられました。その学校は、熱心(ねっしん)なキリスト教(きょう)信者(しんじゃ)によって、自(みづか)らの財産(ざいさん)をつかって、それまで低(ひく)かった女性(じょせい)の立場(たちば)をよくするためにつけられました。その学校の校舎(こうしゃ)と寮(りょう)をかねていた建物(たてもの)です。 |